

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	善光寺御開帳に併せ、布引伝説を活用した「糸のまち・こもろ」体験型集客
事業主体 (連絡先)	小諸商工会議所 (小諸市相生町 3-3-12 電話 0267-22-3355 会頭 香坂 勝)
事業区分	(3)教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	948,058 円 (うち支援金 : 711,000 円)

事業内容

1. 「糸のまち・こもろ」講演会と糸紡ぎ・染め・機織り体験イベント

小諸市民に、「糸のまち・こもろ」を知っていただくことを主眼に、イベントを開催。周辺市町村にも、小諸の蚕糸文化を再認識していただけるよう活動を行った。体験できる講演会として、各種の蚕糸に触れることで、五感で感じる、心で文化を感じる、先人の築いた小諸の素晴らしさを感じ、市民に誇りと外部発信意欲をもっていただいた。今後の活動にブレーンを多く取り入れることができた。



2. 通年型プレ「体験施設」

講演会・体験イベント以後の取り組みとして、毎月1回小諸の既存イベントとジョイントして観光客、地元市民、周辺の市町村の方々に、蚕糸に親しみ、楽しんでもらえるイベントを実施した。月1回開催が習慣となり、固定客も増え、口コミによる集客増にも繋がっている。

「体験ブース」の運営は、当会議所とNPO法人糸のまち・こもろプロジェクトとが協力しながら取り組んだ。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【目標・ねらい】

- ①市民が蚕糸産業の歴史を再認識
- ②富岡製糸場との連携
- ③県内蚕糸産業保存市町村との連携による広域観光
- ④こもろ布引伝説のPR

最初の講演会を「糸のまちこもろ」の出発として、多くのマスメディアに取り上げてもらったことにより、その後の毎月開催イベントにも、ファンや興味を持った市民が集うようになり、多くの目が注がれるようになった。また、近隣の蚕糸文化活動を行っている市町村からも連携の誘いがあり、当所と長野大学を中心事務局として「シルクロード長野ネットワーク」を平成28年1月に立ち上げた。また経済産業省の「絹のみち広域連携プロジェクト」にも積極的参加しやすくなり、地域連携の強化につながり、広域観光に繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、通年「体験型施設」の設置を目指し、行政の支援を得て、外国人観光客の受け入れができる体制を整備して行きたい。また、桑畑であった地籍が、ブドウ畑へ変化した地籍が多い事を引き続き調査して、蚕糸産業とワイン産業(信州ワインバレー構想)のマッチを考えて行きたい。

※自己評価【B】

【理由】

タイトルで「善光寺御開帳に併せ」となっていたが、事業開始が遅くなり、御開帳に絡めた布引伝説のPRと糸のまちのPRができなかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある